

ドリームちゅうおう

1

DREAM CHUOH
JANUARY 2025
No.324



今月号のCONTENTS

- | | |
|--------------|--------------------|
| 02 新年のご挨拶 | 09 直売所探検隊「ハワイ夢マート」 |
| 04 女性会の活動紹介 | 10 JA information |
| 05 トピックス | 15 食卓を彩る 旬のレシピ |
| 06 青壮年部の活動紹介 | 16 クロスワードパズル |



新年あけまして
おめでとうございます

年頭のご挨拶

春



代表理事組合長

上本 武

新年あけましておめでとござ
います。謹んで新春のご挨拶を申
し上げます。

昨年は、年明け早々能登半島地
震、その後9月には豪雨災害も発
生し甚大な被害となりました。そ
の他にも多くの自然災害が発生い
たしましたが、令和7年の年明け

は穏やかで皆様が家族そろって輝
かしい新年をお迎えのことと心よ
りお慶び申し上げます。

昨年度はJA事業へ格別のご理
解とご協力をいただき厚くお礼申
し上げます。
令和6年度の農業を取巻く環境
は、生産者の高齢化に伴い品目に

よっては農業者が減少する中で生
産基盤の弱体化、縮小の傾向にあ
り、加えて担い手の減少や頻発す
る大規模な自然災害、更には地球

温暖化による病害虫の発生や、鳥
獣害など厳しい栽培現場となつて
おります。特に令和6年度は、4月
中旬に降雹被害が発生し、収穫を



断念しなければならぬ梨園も発生し、加えて5月には県下全域で「カメムシ」の大発生により果樹を中心に品質低下、それに伴う出荷量が大幅に減少いたしました。自然を相手の農業の中で、生産農家の皆さんは厳しい栽培環境でありましたが、栽培技術と熱意により品質本位の農産物を消費地の皆さんへ提供し、多くの品目で前年を上回る販売単価となりました。

しかし、昨年から引き続き飼料、肥料、出荷段ボール等の生産出荷資材の値上げ・高止まり、燃油類の高騰、さらに物流2024年問題への対応等による経費の負担が増加し、農産物の販売単価は順調に推移しましたが、販売額の増加が農家手取りに反映されない厳しい状況でした。

そうした中、昨年5月29日に改正食料・農業・農村基本法が四半世紀を経て初めて改正されました。「農政の憲法」とされる基本法の改

正は、これからの日本農業において大きな転換点を迎えるものと思えます。これから新しい基本法を踏まえて基本計画の策定が始まり、それに伴い予算付けも行われます。

これまで一度も達成されていない食料自給率の具体的目標、或いは農地面積、作物ごとの生産数量などの目標数値をどのように設定するのが大きな課題となっておりますし、なにより農業者の関心が最も大きい農産物の「適正な価格形成」の法制化がどのように進んでいくのか今後ともしっかりと進捗状況と内容確認を行っていくことが重要となっております。

J Aの事業運営を取巻く環境は、年々厳しさを増してきております。令和6年産米の作況は、「平年並み」の99でした。概算金単価を大幅に上げて農家の皆さんへ提示させていただきましたが、計画・前年を下回る荷受数量となりまし

た。また、共済事業は、少子高齢化の中で新契約の進捗は非常に厳しい状況となっております。

令和7年度は、J A鳥取中央が「皆様から頼りにされ、なくてはならないJ A」であり続けるため、昨年策定いたしました第9次中期経営計画の2年目となりますがこれの着実な実行により、一層の経営の安定化と盤石化を図ることで組合員・利用者への還元、地域への貢献が出来るよう役職員一丸となつて取り組んでまいります。

本年も組合員・利用者の皆様にはこれまで以上のご支援・ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。



新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年も何卒よろしくお願致します。

代表理事組合長 上本 武
代表理事専務 向井 敏
代表理事専務 戸田 勲

常勤監事 武部 護
理事 栗原 隆博

向井 信博
栗原 隆政
御調 光久

井川 敦雄
藤原 治
濱田 淳

石井 通彦
野田 仁
伊藤 裕章

寺地 政明
蔵増 保則
村岡 幸枝

松田 祥子
盛山 由紀子
淀山 卓也

山本 満一
齊尾 謙一
笠見 和昭

野見 幸雄
池田 弘之

員外監事

代表監事
監事

女性会の活動

女性会のできごとをお伝えします

新年のあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

日頃は女性会活動に対しましてご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。昨年の女性会活動は支部活動を中心に専門部会、地域内交流会など積極的に活動しました。地域貢献活動として「米一握り運動」と「会員一人一枚雑巾運動」を継続実施し社会福祉協議会や学校、こども園などに寄贈しました。

新しい取組みとして、らっきょう生産部と生らっきょうのレシピ考案や、青壮年部とイベントでお餅と手作りケチャップを使用した餅ピザの販売をおこない、食と農の応援団として他組織と連携しました。また、JA 晴

JA鳥取中央女性会 会長 福井満寿美

れの国岡山新見女性部と交流会を実施し、課題の共有、活動事例などの意見交換をおこない、今後の活動に繋がる交流会になりました。

近年、災害が頻繁・激甚化しており、災害に備えることを重要活動方針の一つとして掲げ、各支部で防災研修や炊き出し訓練を実施しました。

本年も、私たちは地域の「農」と「食」と「暮らし」を守るために「国消国産」や「地産地消」に関わる活動やSDGsの目標達成をすすめ、会員一同健康で心豊かな気持ちで活動を続けていきます。

皆様の健康とご多幸をご祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願い致します。

11/13 久米支部 漬物講習会と花飾り作り

倉吉市で漬物の講習会と封筒で作る花飾りの会員研修会を開きました。講師を務めた池田美智子会長は「教える側だったが、他の方が花飾りを完成させた時に喜んでくれている姿をみて嬉しかった」と話しました。



花飾りを作る参加者

11/8 大鴨支部 焼肉のたれ作り

倉吉市で焼肉のたれ作りを行い、19名が参加しました。

昨年に続き、関金支部が講師を務め、参加者は「今年もおいしいタレができ好評だった」と話しました。



みんなで協力して作っている様子

11/22 東伯支部 みどり保育園に雑巾贈呈

地域貢献活動の一環で琴浦町のみどり保育園へ雑巾、約200枚を贈呈し、福山優美子会長は「毎年楽しみにしてもらっていると聞き地域貢献の必要性を強く感じました」と話しました。



代表の子どもに雑巾を贈呈する福山会長㊦

11/26 JAとっとり女性協議会 北海道から女性部の視察受け入れ 情報交換で女性の輪を広げ

北海道のJA士幌町から女性部の視察研修を受け入れました。JA士幌町女性部の吉田こず恵部長は「お互いの組織の違いや活動内容を共有できて楽しかった」と話しました。



会員手作りのお菓子や北栄町特産の花でもてなした

11/29 営農部 青パイアの料理 倉吉農業高校と合同で

倉吉農業高等学校で、カノウユミコさんを講師に迎え、生徒と合同で青パイアを使った料理講習会を開き、サラダやチンジャオロース等3品を作りました。

営農部代表の田村百合子さんは「青パイアを初めて食べたが美味しかった」と話しました。



農高生と一緒に作業をする参加者



いつでも
そばに

みんなのJA

農業祭にぎわう **11/16** 三朝地区 **11/24** 北栄地区 **12/1** 倉吉地区

「ふれあう感動 広がる地域への愛 未来へ輝く食と農」をテーマに、11月16日にJA三朝支所、24日にJA北条支所、12月1日にはJA本所で収穫感謝農業祭を行いました。青壮年部や女性会による餅やおこわの販売、役員による餅まきの他、北栄地区は地元飲食店などの出店、三朝地区と倉吉地区は地元中高生による吹奏楽の演奏や太鼓、ダンスの披露で会場は盛り上がりしました。

三朝地区



北栄地区



倉吉地区



11/17

第19回人形・ぬいぐるみ供養祭

第19回人形・ぬいぐるみ供養祭が倉吉市で執り行い、約450家庭から、人形・ぬいぐるみ約5,000体が集まりました。

供養祭には約40人が参列。自宅で永年可愛がられた人形・ぬいぐるみは、倉吉仏教会の僧侶の読経で丁寧に供養しました。

人形を持参した北条小学校6年生の松本結羽さんは「今日まで大切にしていたお人形さんとお別れします。今までありがとう」と感謝の言葉を捧げました。

この供養祭は、地域貢献活動として2005年から毎年行っており、地域に根ざした催しになっています。



倉吉仏教会の僧侶の読経で供養されました



要望を言う出席者

12/2~5

事業の状況や進捗を確認 下期支所運営委員会

管内6か所で2024年度下期支所運営委員会を開きました。倉吉市のJA本所では、河北・久米の2支所が合同で開催。農産物の販売状況や各事業の実績・進捗状況などを報告。出席者は、直売所の運営やATM設置を増やしてほしいなどを要望しました。

上本武組合長は「皆さんからの聴取した要望を来年度の事業計画で反映していきたい」と話しました。



青壮年部の活動を紹介します!!

新年のあいさつ



新年明けましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年の青壮年部活動におきましては、一昨年から取組んでいる再生した荒廃農地で栽培したサツマイモを用いた芋焼酎が完成し、盟友を初め、JA役職員の方にもたくさん購入頂きました。美味しいと評判は上々で、地域の新たな商品に出来るよう継続して取組んでいます。また、中国四国地区青年大会へ倉吉支部の秋山正治氏が鳥取県代表として出場、素晴らしい主張を行いました。秋山氏の前職での経験を活かした今後の地域貢献への思いを聞き、盟友にとって良い刺激となりました。

JA鳥取中央青壮年部 委員長 大田忠敏

肥料や飼料、生産資材等の価格高騰が続いており、農業経営に甚大な影響を及ぼしていますが、生産経費の高騰に対し農産物の適正な価格形成が追いついておらず、農業所得は減少傾向です。令和6年7月に農林水産省と勉強会を企画し、厳しい農業経営の現状を伝え、スピード感を持って、適切な価格形成の取組を進めるよう要請したところです。このような農家の声を、JAと共に発信していく事も青壮年部にとって重要な活動であります。

本年も食育活動やイベント等を開催し、地域農業を活性化や農業に係る要請活動を継続していきますので、JA鳥取中央青壮年部の活躍にご期待ください。



12/5 湯梨浜支部の盟友たち、大田委員長の農業現場を視察

青壮年部湯梨浜支部は、倉吉市で倉吉西瓜と青ネギを栽培している大田委員長の農家視察を行いました。大田委員長は新規就農者の受け入れや、パート従業員の就労環境や労働条件を重視した労働力確保に取り組んでいます。湯梨浜支部の盟友たちは、大田委員長の調整・梱包・出荷を行う作業場やほ場を訪れ、身体の疲労軽減方法、DIYによるコスト削減方法、作業効率を意識した農作業などについて情報交換を行いました。

参加者からは「今までしてきた作業を見返す良いきっかけとなった」と前向きな意見がありました。



大田委員長と活発な意見交換をする盟友ら

topics

11/23-24 誕生祭にぎわう

「旬 鮮 プラザ 満 菜 館」は15周年を迎え、両日に誕生祭を開きました。県産のもち米や新



大盛況のお米の升売り

米の「きぬむすめ」の升売り、今旬のナガイモ「ねばりっこ」、みかん詰め放題など地元的新鲜野菜の農畜物を特別価格で販売。和牛ステーキやミカン10kg箱が当たるガラポン抽選会を行い、両日とも大盛況でお米の升売りには、行列ができました。来場者は「チラシを見てお得な商品を買って来た。新鮮な野菜や果物が買えて嬉しかった」と話しました。

11/23 農協観光人気企画 旬の「ねばりっこ収穫体験」ツアー



大きなねばりっこを収穫する参加者

北栄町で、全国農協観光協会と協力し、農協観光の人気企画、特産ナガイモ「ねばりっこ収穫体験」ツアーを行いました。キャンセル待ちが出るほどの人気の中、大阪府から16人が参加。同JA長芋生産部の竹本健二部会長の圃場で、スコップで約1m掘り取る収穫作業に挑戦しました。参加者は「上から見えないし、掘ってみてからの楽しさで感じて楽しかった」と話しました。竹本部会長は「普通の長芋より粘りも強く味も濃いため短冊切りや摺って食べるととても美味しい。大きな長芋を掘り良い思い出にしてほしい」と笑顔で話しました。

12/上旬 真っ赤に完熟 イチゴ収穫期



完熟したイチゴを収穫する従業員

北栄ドリーム農場で、イチゴの収穫が始まっています。地域おこし協力隊ら9人が、ハウス25棟、83.2aで作業。令和6年度は、「紅ほっぺ」5万500株と、県オリジナル品種の「とっておい」3,500株を栽培しています。1日に約7~10kg収穫し、3、4月の最盛期には、約500kgになります。6月下旬まで続き、同JAを通じて県内の直売所やスーパー、洋菓子店などに出荷します。

山口弘良ファーム長は「完熟した紅ほっぺは非常に糖度も高く美味しいのでたくさんの人に食べていただきたい」と話しました。

11/26 倉吉梨販売反省会



販売反省会の様子

倉吉市で倉吉梨販売反省会を開き、本年度の販売実績を報告。梨「二十世紀」の販売結果を確認しました。

令和6年は好天に恵まれ気温が高く好条件の中で交配が進みました。梅雨明け以降は、高温・干ばつが続き果実への影響が心配されましたが、肥大は良好。2024年の販売実績は7万7,956箱(1箱10kg)で4億6,818万円を計上し、今後は晩生梨の販売が期待されます。

大野俊一生産部長は「市場の方には最初から最後まで高単価で販売して頂いたことに感謝している。また、早く新選果機を導入したい」と話しました。

12/10 白ネギ目合わせ会



それぞれの産地の出荷規格を現物をみて確認

白ねぎ生産部は、北栄町で目合わせ会を行いました。管内に広がる倉吉・関金、琴浦、北条の3つのネギ産地の生育・出荷状況の共有や現物を持ち寄り出荷規格などを確認。3月上旬まで続く秋冬ネギの品質の統一を図りました。生育状況では各産地で、今季は夏場の高温で太さや数量に影響が出ていると報告しました。井上寿樹部長は「十分な値段をキープするには、努力が必要。検査もしっかり行い良いネギを出荷していきましょう」と挨拶しました。

同部は24万5,000ケースの出荷で、3億6,750万円の販売を目標に掲げています。

11/30 准組合員の集いで 施設見学や収穫体験実施



初めて収穫を体験した参加者

琴浦町で「准組合員の集い」を開きました。准組合員の集いとは、JA事業や地元特産品への理解促進を図るために行っているイベントで、今年は准組合員ら12人が参加。戸田勲営農担当常務がJA事業やみどりの食料システム戦略を活用した取組について説明した後、集荷場で収穫後の品質を維持するための発泡氷詰め機や冷蔵施設を見学。その後、琴浦ブロックリー生産部の手嶋祐一副部長のほ場で収穫するポイントを聞き、包丁を使って収穫作業を体験しました。参加者は「足元が悪く、意外と力も必要で、農家の大変さがわかった」と話しました。

11/27 中央育英高校バレー部を
特産品贈呈で応援



「鳥取中央」つながりで応援中

鳥取中央育英高校男子バレー部は、JA鳥取中央本所を訪れ、全日本高校選手権(春高バレー)鳥取県大会を8連覇した報告を行いました。生徒は「まずは初戦突破できるよう精一杯頑張る」と1月に東京体育館で開幕する全国大会への意気込みを語りました。JA鳥取中央は、同じ「鳥取中央」の名前が付く同校に、管内の特産品を贈り応援を続けています。今回は12月14・15日に同校が開く「ZAMST CUP高校男子バレーボール大会inKUEI」で参加校にねばりっこと星空舞を送ると約束しました。戸田勲常務は「春高バレーでの1勝をつかめたら更に農畜産物を送り応援したい」とエールを送りました。

11/23 よってみたい菜で
花の寄せ植え教室を開く



花の特徴を生かして配置する参加者

旬鮮プラザよってみたい菜は、消費者を対象に花の寄せ植え教室を開き、11人が参加しました。

講師には谷本種苗の藤田昭子さんを招き、ガーデンシクラメンやプリムラジュリアンなど8品目の花を使い寄せ植えをしました。プランターの中に鉢底石と土を入れた後に品目の特徴を生かしながら花を配置。参加者は「初めて教わりながら花の寄せ植えをした。いつもよりも綺麗にできた」と話しました。

講師の藤田昭子さんは「花の寄せ植え教室をするたびに新品種の花を持ってきている。皆さん楽しんで頂いて良かった」と話しました。

大鴨支所 年金友の会 11月26日
秋季グラウンド・ゴルフ大会

場所：中国庭園 燕趙園
人数：30人

個人の部

優勝	林 博子	19打
準優勝	徳永正一	20打
第3位	藤原裕幸	20打



左から 徳永さん、優勝した林さん、藤原さん

久米支所 年金友の会 11月29日
グラウンド・ゴルフ大会

場所：国分寺歴史公園 人数：60人

個人の部

優勝	小谷靖仁	37打
準優勝	杉本信樹	37打
第3位	福山明夫	37打

団体の部

優勝	高城 A	209打
準優勝	灘手 B	213打
第3位	社 A	214打



団体優勝チーム

11/22-23 県オリジナル米「星空舞」を沖縄県でPR



木下部長宛から購入されたお客さんに手渡される星空舞

JAグループ鳥取は沖縄県で、鳥取県オリジナル米「星空舞」の新米キャンペーンとして、店頭試食宣伝販売を行いました。

県内のスーパー3店舗で炊き立てのおにぎりの試食を提供。2日間で5kg袋が289袋、3kg袋が52袋売れました。沖縄では、昨年からは星空舞の販売を始め、幅広く定着しつつあり、お客さんは「毎日食べている。お米の甘みもありおいしい」と話し、木下拓也農産部長は「星空舞の特徴が沖縄県の食に適していると感じた。他県に負けない販売促進を継続して知名度を高めていくことが必要だ」と話しました。

新年のあいさつ



JA鳥取中央
直売所運営協議会
会長 中原一男

2025年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましても幸多い年になりますように祈念申し上げます。昨年、元旦に発生しました能登半島地震により亡くなられた方々に謹んでお悔みを申し上げますとともに、被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて我々生産者にとっても、害虫被害と高温による栽培管理の難しい一年となりました。生産量が減少し、消費者へ農産物が充分にお届け出来たと言い難い、厳しい一年となりました。今年は、消費者の皆様へ多くの「安心・安全・新鮮」な農産物をお届けできる一年になるよう、出荷会員の皆様へは健康に留意頂きながら、出荷下さいます様お願い申し上げます。

我々友の会役員も店舗職員と協力し、イベント等を開催して生産者と消費者の皆様との「つながり」をさらに強め、直売所の未来に「つなげる」年にしたいと思います。

皆様の暖かいご支援とご愛顧を賜り、皆様で力を合わせ、変化を捉え、未来を拓く一年にしていきましょう。

最後になりましたが、今年も皆様と共に、健康で充実した一年を過ごせることを祈念して新年の挨拶といたします。



しめ飾りは、お正月に歳神様(としがみさま)をお迎えする家の中に、邪気や魔、厄災、禍事が入ってこないようにする結界が本来の意味なんです。

材料のわらは、自家製の「星空舞」を使います。本当は、青刈りした「もち米」のわらが柔らかく、しめ縄には向いているんです。縄を縛うのは力仕事のようにもみえませんが、美しく仕上げるポイントが、傷んだり色の悪いわらを取り除く、調整と選別が欠かせない作業になりますし、縄の縛い方にも、目を揃えながら丁寧な作業が必要になります。さすがに300本も縄を縛うと、手の皮が擦り切れて出血ものなので、皮の手袋は必需品です。縄を縛う以外にも、「う

12月23日くらいから取り掛かる予定です。毎年数種類のしめ飾りを作りましたが、昨年から二種類に絞っています。この時期、約300本を二人で作るのに、作業の効率化からも、シンプルながらの家の家で作っていたような仕様に

作りました。縁起物の飾り付けには「ゆずり葉」「うらじろ」「なんてん」「みかん」「稲穂」の5点。もともと家の周りには、縁起の良い木を植えることが勧められますが、その中から材料を揃えるようにしています。橙(だいだい)の替わりにみかんを使っていますがね(笑)。作り初めて10年経ちました。きつかけは、岡山の久米南町で立ち寄った直売所に出されていたしめ飾り、との出会いが事の始まりです。自分にも出来るかもと思いつき、直売所に出荷を始めて7年くらいたちます。作り方は、母親ゆずりの方法のほか、古くから出雲大社の大しめ縄を作っている島根県飯南町の飯南町注連縄企業組合に視察に行ったり、最近ではYouTubeでも勉強しています。



「ゆずり葉」は、新芽が出てから古い葉が落ちることから、子孫繁栄を意味する縁起物になりました。



本来は橙(だいだい)という柑橘類の果物を付けます。これは「代々(だいだい)栄える」という意味があります。橙は少し大きいので、私はみかんで全体のバランスをとっています。



東伯郡湯梨浜町久留26-1 TEL/35-3535 FAX/35-3888
営業時間/9:00~17:30

直売所探検隊

年の瀬はしめ飾り作りで大忙し

倉吉市関金町

瀬尾 学さん
せお まなぶ

「うらじろ」2葉1組で600枚、紙垂(しで)を300枚ハサミでチョキチョキ。下準備が予想以上に大変なんですよ。直売所に行けば私の作ったしめ飾りがあります。気に入っていたら嬉しいです。ちなみに、一般的には12月28日に飾るのが良いとされているみたいです。

※縛う(なう)＝複数の糸や紐を組み合わせて一本の紐や縄にすることを意味します。

総務部より

総代選挙について

本組合は総代選挙規程第4条に基づき、総代選挙を下記の通り行います。

【立候補及び推薦の受付】

立候補者及び推薦人は正組合員に限ります。

【総代の任期】

2025年5月1日より2028年4月30日までの3年間。

【総代の定数】

全地区合計553名

【無投票当選】

総代の候補者が、選挙する総代の数を超えないとき、又は、超えなくなったときは、投票は行われません。

【総代選挙日程】

- 2月 3日(月) 総代選挙の掲示
- 3月17日(月) 総代候補者立候補・推薦の届け出締め切り
- 3月18日(火) 総代候補者の掲示
- 3月21日(金) 総代選挙、開票
- 3月21日(金) 当選人への通知、総代当選人の掲示
- 3月24日(月) 就任承諾書提出期限
- 《無投票当選の場合》
- 3月18日(火) 総代選挙を行わない旨の公告
当選人への通知、総代当選人の掲示
- 3月24日(月) 就任承諾書提出期限
- 5月 1日(木) 総代当選者の就任

JA全農とっとり・JA中央サービス
2025
新春ドリムフェア

とき **2/22^土・23^日** 祝日

ところ **大栄すいか統合選果場**

農機・自動車・ガス
合同展示会



Rinnai 乾太くん

組合員の皆様へ

これまで皆様からご愛顧いただいております3年連続日記は、令和7・8・9年版をもちまして、取り扱いを終了することとなりました。



組合員の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

◎今後のスケジュール

- 最終受注受付 令和7年1月14日(火)まで
- 返品等受付 令和7年1月22日(水)まで

※この期日以降につきましては対応いたしかねます。

《中部地域農作業安全・農機具盗難防止協会からのお知らせ》

電動剪定バサミは便利な一方、事故が起こることもあります!

こんな事故が...

剪定作業中、地面の凹凸に足を取られ体がふらついた際、刃を閉じていなかったことから指が交錯し切断。

対策

- ・短時間でも手から離す時は電源をOFFにする
- ・作業中は常に周囲に気を配り、足場が安全なこと周囲に子どもや第三者がいないことを確認して使用する
- ・ゴーグル、防塵マスク、手袋を使用する。ゆったりした衣服は巻き込まれる可能性を考慮し着用しない



◎特に、屋前・夕方などの仕事終わり近くに事故の発生リスクが高まります。常にゆとりをもった作業で事故を防ぎましょう。



JA鳥取中央 葬祭センター

TEL (0858) 47-0983
FAX (0858) 47-0981

☎0120-80-9831

通話料無料
24時間受付



メモリアルホール
報恩舎
〒682-0017
倉吉市清谷町2丁目143
TEL (0858) 47-4300
FAX (0858) 47-4320



メモリアルホール
福本
〒682-0604
倉吉市福本220-1
TEL (0858) 48-2100
FAX (0858) 48-2101



メモリアルホール
あじさい
〒689-2303
琴浦町徳万282-13
TEL (0858) 53-1184
FAX (0858) 52-3943



四宝湯 (スーホータン)

フクロタケが手に入らなければお好みのキノコでOK

材料 4人分

たけのこ水煮	100g	片栗粉	小さじ1
ウズラの卵	12個	スープ	1000ml
フクロタケ(缶詰)	8個	塩	小さじ1
鶏ささみ肉	100g	酒	大さじ1
しょうが汁	小さじ1/2	こしょう	少々
酒	大さじ1/2	香菜	適宜

作り方

- ①たけのこ水煮は縦半分にして3cm長さの薄切りにする。ウズラの卵はゆでる(時間の目安は沸騰してから3分)。フクロタケは縦半分に切る。
- ②鶏ささみは筋を取り、そぎ切りにしてしょうが汁、酒で下味を付け、片栗粉をまぶす。
- ③スープを煮立て、②のささみを入れて火を通し、あくを取る。①のたけのこ水煮、フクロタケを入れて5分加熱して、塩、酒、こしょうを加え、味を調べてから①のウズラの卵、香菜を入れて火を止めて盛り付ける。

※キリトリ

●アンケートにお答えください。

「ドリームちゅうおう1月号」良かった記事は?(複数回答可)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 表紙 | <input type="checkbox"/> 青壮年部の活動紹介 |
| <input type="checkbox"/> 新年のご挨拶 | <input type="checkbox"/> 直売所探検隊 |
| <input type="checkbox"/> 女性会の活動紹介 | <input type="checkbox"/> 食卓を彩る旬のレシピ |
| <input type="checkbox"/> トピックス | <input type="checkbox"/> クロスワードパズル |

良かった理由:

●クロスワードパズルに応募される方はお書きください。

(※応募されない方は空欄で構いません。) ※クロスワードの

「クロスワードパズル」の答え

A	B	C	D	E	F

正解者の方には、抽選で「イチゴ」をプレゼント致します。

※キリトリ

●次号のお便りのお題「人生で1番楽しいと思った瞬間」を教えてください。また、「暮らしをうたう川柳」への応募、JA鳥取中央グループに対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

(ペンネーム:)

※ドリームちゅうおう誌面にて発表することがありますのでご了承ください。

編集後記



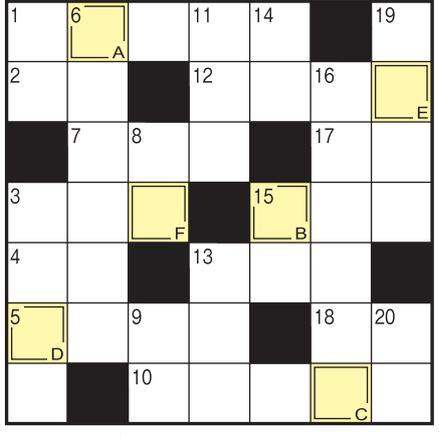
新しい年がやってきました! 2025年、巳年の幕開けです。今回の表紙は、よってみたい菜でも周年の誕生祭での餅つきの様子です。青壮年部西郷支部と周りのお客さんの掛け声で活気がある楽しい雰囲気でした。広報課の私は、入組して1年目で、色々な取材に行きました。中でも、野菜の収穫の様子をインタビューすると知らないことばかりで面白かったです。今年は、昨年以上に生産者さんの思いを伝えられるような記事を書きたいので、皆さん今年もよろしくお願ひいたします。

広報課

アタマの体操 クロスワードパズル

今月のプレゼントは **イチゴ**

二重マスの文字をA～Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



A B C D E F

--	--	--	--	--	--



12月号の答え
ゲイシュン

タテのカギ

- 1 教育・勤労・納税は国民の三大――です
- 3 気仙沼の名物、サメの加工品
- 6 さいころや角砂糖はこの形
- 8 封書を数えるときに使う言葉
- 9 キラキラ光る――入りのセーター
- 11 風を受けて水上を進みます
- 13 地銀よりも規模が大きめ
- 14 といで炊きます
- 15 水で洗い物をするとかじかむことも
- 16 多くが九州で作られている酒
- 19 こ、これぐらい平気だい!
- 20 チョキがはさみならパーは

ヨコのカギ

- 1 2月14日に職場などで配る人もいます
- 2 リンゴの品種。青森県北東部に同じ名前の市があります
- 3 天気が崩れて――が強まった
- 4 寒い日にはこりやすくなる人も
- 5 節分にイワシの頭を刺して飾ります
- 7 紅茶の茶葉とお湯を入れます
- 10 熱心に後輩を指導する、――のよい先輩
- 12 看護師――ともいうナースステーション
- 13 和歌山県には奈良県と三重県に囲まれた――があります
- 15 不利の反対語
- 17 古代インド発祥のエクササイズ
- 18 じゅうたんを敷く所

応募要項

下記「応募ハガキ」に、クイズの答えをお書きの上、応募締切までに切り取ってポストへ投函するか、各支所へお持ち下さい。
※通常ハガキ・FAX・メール・HPからも応募可能です。クイズの答えの他「良かった記事・住所・氏名・電話番号」をお書きの上ご投函下さい。

- 応募締切 1月31日(金) 当日消印有効
- 応募先 〒682-0867 鳥取県倉吉市越殿町1409 JA鳥取中央 広報課宛
- F A X 0858-23-3070
- Eメール kouhou@ja-tottorichuou.or.jp

※当選は商品の発送をもってかえさせていただきます。※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。



HPでも応募できます



中四国版 紙面には、JA鳥取中央の記事が随時掲載されています! ぜひご覧ください!!

お近くの新聞販売店から毎日お届けします。

購読料 月極 (税込)
紙版 3,100円
電子版 2,403円

購読のお申し込みは、各支所 組合員課までお問い合わせください。

購読料 年額 (税込)
9,411円

誌代1年分を年間予約として購読料をお支払いいただくと普通月号1か月分が無償となります

※原則として、年間予約購読(前納)の中途解約はできません。
※1冊からでもご購読できます。

郵便はがき

料金受取人払郵便

倉吉局 承 認 872

差出有効期間 2025年2月7日まで 切手不要

6 8 2 8 7 9 0

倉吉市越殿町1409

鳥取中央農業協同組合

総務部 広報課 宛

住所	
氏名	
電話番号	

※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。